

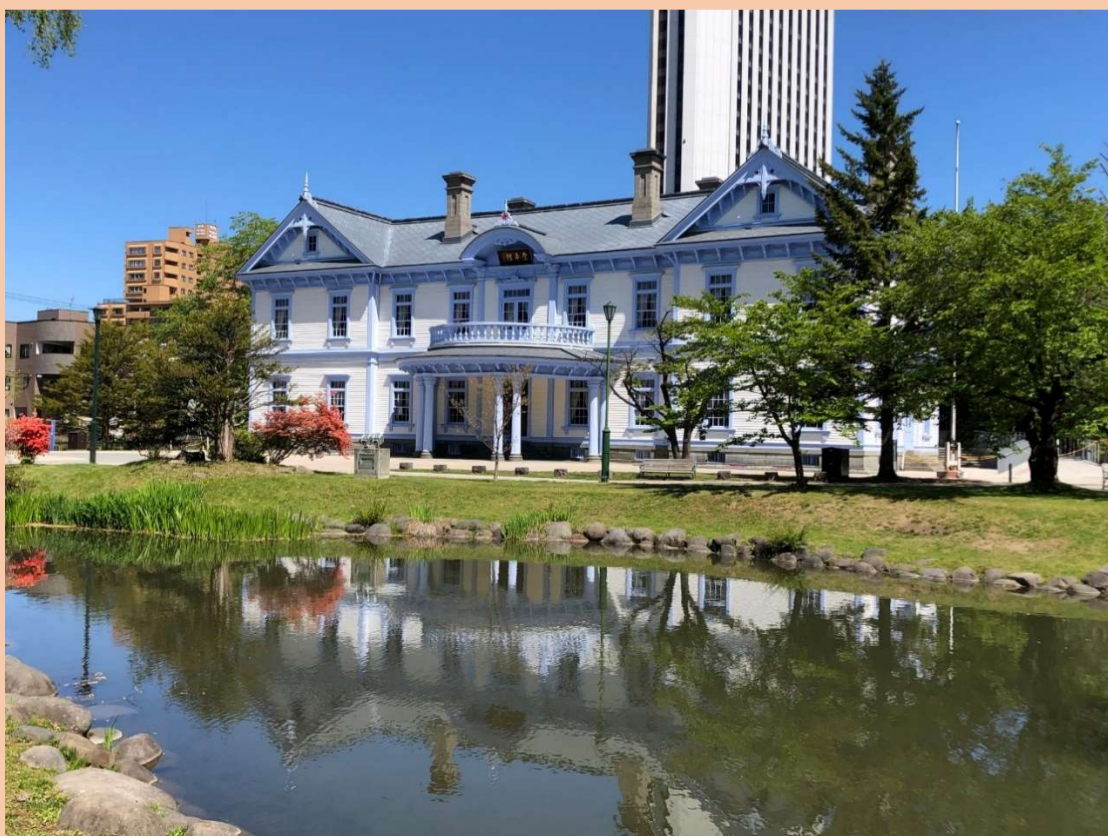


<豊平館客室>

～北海道の洋風建築～

展示期間: 令和4年3月24日(木)～4月26日(火) 展示場所: 2階展示コーナー

<豊平館外観>



明治の世になると、全国各地で競うように洋風の建物が建築されました。北海道も例外ではなく、古くから開けていた函館、小樽はもちろん、札幌でも開拓使本庁舎(明治6年竣工、同12年焼失)や時計台となった札幌農学校演武場(明治11年)、北海道庁本庁舎(明治21年)などが次々と建築されました。写真の豊平館は明治13年に開拓使経営の宿泊施設として建てられ、北海道巡幸中の明治天皇が最初の宿泊者となりました。

これらの洋風建築の由来を知ることで、百年以上前に活動していた人たちが、何を考え、何を指して建築したのかを伺い知ることができます。